第 1 号議案　令和 2 年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

令和 2 年度　事業報告

（新規事業：太字）

Ⅰ　教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】
県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。

事　業	内　容（千葉県委託事業：★）
1.生涯教育 分類1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育　21コース 分類2 JNAラダーと連動した継続教育　48コース 分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育　10コース 分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育　2コース 分類5 資格認定教育　4コース 全85コース 1）生涯教育再構築（Web配信・ライブ）　28コース	1.生涯教育 令和2年度当初は全85コースを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止し、3密を避けるために、演習を含めない講義中心の研修とした。資格習得、診療報酬上必要な研修、新人看護師、看護管理者対象の研修を基本に28コース再構築した。対面研修のほかにWeb配信ライブ研修、e-ラーニング等を新たな研修方法として加え、11月より再開した。 1）生涯教育再構築 全28コース34研修→全25コース31研修 受講者数1,204名、受講率47.7%（前年82.3%）であり、前年に比較すると大幅に低下した。

⑴分類別開催状況

分　類	生涯教育(コース)	委託研修(コース)	中止研修(コース)	実施研修(コース)
分類1:「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	3	1	1	3
分類2:JNAラダーと連動した継続教育	12	3	1	14
分類3:看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	7	0	―	7
分類4:専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	1	0	―	1
分類5:資格認定教育	1	0	1	0
合　計	24	4	3	25

⑵研修方法別開催状況(実施研修25コース)

研修方法	コース数	備考
対面研修	2	・災害支援(基礎編) ・実地指導者研修
対面研修+Web配信・ライブ	1	教育担当者研修
Web配信・ライブ	21	フレッシュセミナー他
e-ラーニング+Web配信・ライブ	1	医療安全管理者養成研修
合　計	25	

⑶研修後アンケート結果　ラダーについて
対象者：1,204名　回収数：789　回収率：65.5%
・ラダーは研修選択の参考になったか(N＝789)

項目	大いに参考になった	参考になった	あまり参考にならない	参考にならない	無回答
回答数	127	557	82	6	17
割合	16.1%	70.6%	10.4%	0.8%	2.1%

⑷研修後アンケート結果　Web配信について
対象者：1,182名　回収数：761　回収率：64.4%
①Web配信研修の受講環境(N＝761)

項目	自宅	職場	その他	無回答
回答数	303	404	49	5
割合	39.8%	53.1%	6.4%	0.7%

②音声や画像の配信状態は適切でしたか(N＝761)

項目	大いに適切だった	適切だった	あまり適切でない	適切でない	無回答
回答数	140	523	78	16	4
割合	18.4%	68.7%	10.3%	2.1%	0.5%

③資料の入手は適切でしたか(N＝761)

項目	適切に入手できた	適切に入手できなかった	無回答
回答数	581	170	10
割合	76.4%	22.3%	1.3%

④時間配分は適切でしたか(N＝761)

項目	大変適切だった	適切だった	あまり適切でない	適切でない	無回答
回答数	133	516	94	9	9
割合	17.5%	67.8%	12.3%	1.2%	1.2%

2)分類別実施状況

⑴分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育　4コース

a.「新型コロナウイルス感染症の現状と対応
～知っておきたいCOVID-19の基礎知識～」　100名

b.★「認知症対応力向上研修」　36名

c.「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」
（JNA収録DVD研修）診療報酬加算対応　×3
各36名×3回　108名

d.「医療安全管理者養成研修会」(e-ラーニング・対面)
診療報酬加算対応

⑵分類2：JNAラダーと連動した継続教育　15コース

①ニーズをとらえる力　該当研修無し

②ケアする力

a.「災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基本的知識～」(JNA収録DVD研修)　36名

b.「災害医療と看護(実践編)」　100名

c.「災害支援ナース更新・再登録要件講習会」　70名

d.「糖尿病患者のセルフケア支援
～糖尿病の最新知識と看護～」　100名

e.「糖尿病患者のセルフケア支援
～糖尿病性腎症の重症化予防～」　100名

f.「高齢者施設における感染管理」　100名

2)分類別実施状況

⑴分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育(3コース＋県委託研修1コース－中止1コース)　3コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.新型コロナウイルス感染症の現状と対応 ～知っておきたいCOVID-19の基礎知識～	100	35	35.0%
b.★認知症対応力向上研修　中止			
c.【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対応】	108	104	96.3%
d.令和2年度医療安全管理者養成研修会(e-ラーニング＋集合研修)【診療報酬加算対応】	100	56	56.0%
合　計	308	195	63.3%

⑵分類2：JNAラダーと連動した継続教育
(12コース＋県委託3コース－中止1コース)　14コース終了

①ニーズをとらえる力　(0コース)

②ケアする力　(5コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基本的知識～	36	36	100.0%
b.災害医療と看護(実践編)	100	55	55.0%
c.災害支援ナース更新・再登録要件講習会	70	44	62.9%
d.糖尿患者のセルフケア支援 ～糖尿病の最新知識と看護～	100	25	25.0%
e.糖尿病患者のセルフケア支援 ～糖尿病性腎症の重症化予防～　中止			
f.高齢者施設における感染管理	100	14	14.0%
合　計	406	174	42.9%

b.災害医療と看護(実践編)

本研修は、当初、講義と演習で360分(2日間）の研修を企画していたが、令和元年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止していたことから、研修要件をクリアする360分一日研修とし、Web開催で実施した。アンケート結果は94%が「満足」と回答していた。

f.高齢者施設における感染管理

高齢者施設でのクラスター発生もありニーズが高いと思い企画したが、受講率が低かった。

③協働する力

a.「医療安全Ⅲ～医療事故事例を法律から見てみる～」 100名

b.「リーダーを始める人のためのコーチング」 100名

c.「リーダーシップ研修 ～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～」 100名

④意思決定する力　　該当研修なし

⑤看護共通

a.「フレッシュセミナー」 ×3回 100 ～ 800名×3回 300 ～ 2,400名

b.★「新人看護職員研修 ～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～」 100名

c.★「新人看護職員研修 ～フィジカルアセスメント～」 100名

d.★「新人助産師研修～ハイリスク妊婦ケア～」 20名

e.★「新人助産師研修 ～新生児のフィジカルアセスメントとケア～」 20名

f.★「実地指導者研修」 36名

g.「タイムマネジメント ～ワークもライフも生き生きと！～」 100名

h.「これからのキャリア発達・キャリア開発を考える ～人生100年時代を見据えて～」 100名

⑶分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 7コース

a.「看護管理者研修① ～看護管理の基本と管理者の役割～」100名

b.「看護管理者研修② ～看護管理者のための看護倫理～」 100名

c.「看護管理者研修③ ～組織管理と組織分析～」 100名

d.「看護管理者研修④ ～中途採用者の職場適応と育成～」 100名

e.「看護管理者研修⑤ ～組織運営におけるマネジメントと人材育成のためのコーチング～」 100名

f.「 職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」 100名

g.「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう！」 100名

③協働する力 (3コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.医療安全Ⅲ ～医療事故事例を法律から見てみる～	100	23	23.0%
b.リーダーを始める人のためのコーチング	100	39	39.0%
c.リーダーシップ研修　～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	100	42	42.0%
合　計	300	104	34.7%

④意思決定する力　　該当研修なし

⑤看護共通 (6コース終了)

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.フレッシュセミナー	300	252	84.0%
b.★新人看護職員研修　～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～ c.★新人看護職員研修　～フィジカルアセスメント～	200	58	29.0%
d.★新人助産師研修　～ハイリスク妊産婦ケア～ e.★新人助産師研修　～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	40	19	47.5%
f.★実地指導者研修	36	28	77.8%
g.タイムマネジメント　～ワークもライフも生き生きと！～	100	10	10.0%
h.これからのキャリア発達・キャリア開発を考える　～人生100年時代を見据えて～	100	16	16.0%
合　計	776	383	49.4%

a.フレッシュセミナー

参加者数はすべての千葉県内の新人看護職員が受講できるよう、100名以上800名までが受講できるよう3回のWeb配信研修とし、252名の参加があった。

グループワークを通じて他施設の新人看護職からの学びを得ることがフレッシュセミナーのメリットであったが、今年度は、事前アンケートを取り、先輩に質問したいことなどを書いて提出してもらい、講義内で講師に回答してもらう形とした。

⑶分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 (7コース) 7コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.看護管理者研修① ～看護管理の基本と管理者の役割～	100	78	78.0%
b.看護管理者研修② ～看護管理者のための看護倫理～	100	57	57.0%
c.看護管理者研修③ ～組織管理と組織分析～	100	57	57.0%
d.看護管理者研修④ ～中途採用者の職場適応と育成～	100	52	52.0%
e.看護管理者研修⑤～ 組織運営におけるマネジメントと人材育成のためのコーチング～	100	60	60.0%
f.職場適応を支えるメンタルヘルス　～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～	100	17	17.0%
g.ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう！	100	9	9.0%
合　計	700	330	47.1%

⑷分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育　1コース
a.★「教育担当者研修」　36名

⑷分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育（県委託研修1コース）　1コース終了

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.★教育担当者研修	36	18	50.0%
合　計	36	18	50.0%

・教育担当者研修については、受講率50%、満足度93%であった。
対面研修として実施していたが、5日目のみWeb研修に変更し実施した。

⑸分類5：資格認定教育　1コース
a.★「喀痰吸引等指導者養成講習会」　36名

⑸分類5：資格認定教育（県委託研修1コース）

研修名	定員数	受講者数	受講率
a.★喀痰吸引等指導者養成講習会(県委託研修) 中止			

2.トピックス研修

2.トピックス研修（Web配信ライブ研修・コビナビ共催）
1）研修内容
・目　的：ワクチンの正しい知識を普及するため
・テーマ：「新型コロナウイルス感染症に対するmRNAワクチンについて」
・日　時：令和3年2月17日(水) 18:00 ～ 19:00
・講　師：千葉大学医学部附属病院
感染症内科・感染制御部　谷口俊文氏
・申込数：1,077名　アクセス数：832名
2)申込職種内訳(N＝1,077)

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	
人数	40	11	831	13	
職種	事務職	医師	看護補助者	理学療法士	その他
人数	59	21	16	16	70

3)アンケート結果
対象数：832名　回収数：184　回収率：22.1%
⑴ワクチン接種意向について(N=184)

項目	すぐに接種する	まだわからない	接種しない
回答数	168	14	2
割合	91.3%	7.6%	1.1%

⑵不安について(N＝184)

項目	解消した	少し解消した	解消しない
回答数	96	86	2
割合	52.2%	46.7%	1.1%

⑶知識の獲得について(N=184)

項目	他者に説明できる	説明できる自信がない	説明できない
回答数	137	47	0
割合	74.5%	25.5%	0.0%

3.千葉県看護研究学会
1)第39回千葉県看護研究学会
開催日：令和3年2月22日(月) 10:30 ～ 16:00
場　所：アパホテル&リゾート　東京ベイ幕張ホール

3.千葉県看護研究学会
1)第39回千葉県看護研究学会
日　時：令和3年2月22日(月) Web開催
・学会参加応募総数154名
（看護職59名、看護学生71名、座長、評価者等関係者24名）
・千葉県看護研究学会の演題申込数8演題(うち辞退2題)、発表6演題
・特別講演　東京医療保健大学副学長　坂本すが氏
「ナースはゲームチェンジャー」

4.図書室の管理運営

4.図書室の管理運営
新型コロナウイルス感染拡大防止のため
令和2年8月17日～ 11月17日、
令和3年1月6日～ 3月31日の期間閉室

1)図書室の管理運営

1)図書の管理運営
購入図書 13冊、寄贈図書 52冊、購入雑誌 31誌、寄贈雑誌 12誌

2)資料・文献検索・レファレンス

2)資料・文献検索・レファレンス
図書室利用　21件(うち研修受講者　3名)

5.委員会の開催 1)事業運営のための委員会の開催 ⑴教育委員会　年6回 ⑵看護研究委員会　年6回 ⑶認定看護管理者教育課程運営委員会 年2回程度 ⑷千葉県看護教員養成講習会運営委員会	5.委員会の開催 1)事業運営のための委員会の開催 ⑴教育委員会　(9/15、10/15、11/19、12/17、2/24、3/5) ⑵看護研究委員会　(9/17、10/27、11/27、1/29、3/5) ⑶認定看護管理者教育課程運営委員会　(10/5、1/22) ⑷千葉県看護教員養成講習会運営委員会　(9/23、11/2、3/16)

Ⅱ　看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】
ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事　業	内　容
1.第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	1.第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進
1)第4次千葉県看護職定着･確保推進計画の普及･推進､評価	1)第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進、評価
2)第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定	**2)第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の策定** **⑴看護職定着確保対策協議会作業部会設置(8月)** **⑵看護職定着確保対策協議会作業部会開催** (8/26、9/30、10/26、12/23)
3)看護職定着確保対策協議会の開催　年2回	3)看護職定着確保対策協議会の開催 (12/3、1/14)
4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ⑴「看護ちば」、ホームページ等による広報 ⑵各種協会事業を通した普及	4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ⑴「看護ちば」、ホームページ等による広報 ⑵各種協会事業を通した普及
5)労働環境改善委員会の開催　年6回	5)労働環境改善委員会の開催(9/16、10/21、11/13、12/11、1/8)
6)看護政策推進のための組織強化の推進	6)看護政策推進のための組織強化の推進
2.看護職の労働環境の向上 1)ヘルシーワークプレイスの構築・推進事業 ⑴ヘルシーワークプレイスの広報 ⑵ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集	2.看護職の労働環境の向上 1)ヘルシーワークプレイスの構築・推進事業 ⑴ヘルシーワークプレイスの広報 「看護ちば」135号、136号 ⑵ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集 令和2年10月19日～令和3年1月末 応募施設　1施設
⑶ヘルシーワークプレイス推進週間の設置	⑶ヘルシーワークプレイス推進週間の設置　令和2年10月1日～ 7日
2)ワーク・ライフ・バランス相談窓口 ⑴電話相談(週2日)	2)ワーク・ライフ・バランス相談窓口 ⑴電話相談(火・木)

相談件数　(件)

相談件数＼年度		2年度	元年度
相談件数		37	93
相談者内訳	看護管理者	13	55
	個人	24	38

相談内容別内訳
看護管理者　(延べ件数)

項目＼年度	定着確保	パワハラ	管理体制	WLB関係	就業規則	新型コロナ	他	計
R2	3	1	2	6	1	0	1	14
R1	12	10	13	30	2	1	0	68

※WLBワークショップ事業は令和元年度をもって終了。

個人　(延べ件数)

項目＼年度	教育体制	パワハラ	健康問題	職場復帰	人間関係	待遇	過重労働等	新型コロナ	他	計
R2	2	7	1	2	5	5	0	5	5	32
R1	4	10	2	2	7	7	2	0	3	37

3.看護進路相談事業
1)出前授業(いのちの大切さ教育)

2)ふれあい看護体験事業

3)進路相談事業

4)進路担当教員等への情報提供

4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会

5.ナースセンター事業(千葉県委託)
1)看護職の定着確保に係る実態調査

3.看護進路相談事業
1)出前授業

学校別＼年度 実績	2年度		元年度	
	施設数	参加者数	施設数	参加者数
中学校	6	699	16	1,901
高等学校	4	102	7	759
合計	10	801	23	2,660

内容：「いのちの大切さ、こころとからだの話」「看護職の仕事」等

2)ふれあい看護体験事業　中止

3)進路相談事業
相談者別内訳

方法・相談者＼年度		2年度	元年度	増減
相談件数(件)		34	43	△9
相談者別内訳(名)	高校生	0	2	△2
	保護者	4	9	△5
	一般	18	26	△8
	教員	1	0	1
	その他	11	6	5

相談内容別内訳　（延べ件数）

相談内容＼年度	2年度	元年度
進学先・学校の選択	3	15
看護職への転向	14	12
就学資金、経済的負担	6	8
キャリアアップ	9	4
看護学生のハラスメント	1	0
その他	5	8
合計	38	47

4)進路担当教員等への情報提供

4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会　中止

5.ナースセンター事業(千葉県委託)
1)看護職の定着確保に係る実態調査
⑴看護職の定着確保動向調査

対　象		調査期間	回収数	回収率
病院看護管理者	290施設	9/16 ～ 9/30	176	60.7%
新人看護職員	千葉県看護協会会員施設(570施設)	12/15 ～ 12/24 (Web調査)	791	
未就業看護職	282名	9/16 ～ 9/30	75	26.6%

主たる調査結果から
(病院看護管理者)
○離職率

	2年度	元年度	JNA 2年度
常勤看護職員	12.4%	12.2%	11.5%
新卒看護職員	8.2%	8.4%	8.6%
既卒看護職員	28.1%		16.4%

(新人看護職)
社会人経験について：ある191名(24.1%)　ない 598名(75.6%)
やめたいと思ったこと：ある595名(71.4%、前年度69.7%)

やめたいと思った理由：看護職に向いていない39.9%
勤務時間内の仕事が終わらない 37.0%
医療事故を起こさないか心配 34.1%
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い困ったこと：ある623名(78.8%)
理由：ストレス発散ができない 78.7%
同僚との交流がない 62.8%
感染がこわい 51.8%

(未就業看護職)
○離職理由

2年度			元年度		
1	人間関係	24.0%	1	人間関係	31.1%
2	健康上の理由	17.3%	2	健康上の理由	19.7%
2	出産育児子供のため	17.3%	3	結婚	13.1%
3	看護内容への不満	14.7%	3	転居	13.1%
3	自分の適正能力への不安	14.7%	3	看護内容への不満	13.1%

⑵看護職の再就業者実態調査
対　象：令和元年度千葉県ナースセンター登録の再就業者　152名
調査時期：10/26 ～ 11/13
回収数：76　回収率：50.0%
結　果：就業先決定の決め手

2年度		元年度	
1	勤務時間	1	勤務時間
2	立地(通勤に便利な場所等)	2	立地(通勤に便利な場所等)
3	看護領域、看護・業務内容	3	看護領域、看護・業務内容
4	給与	4	休日・休暇制度
5	家族の支援・同意	4	家族の支援・同意

2)看護職の無料職業紹介

2)看護職の無料職業紹介
⑴eナースセンターを活用した職業紹介
第6次ナースセンターコンピュータシステム(NCCS)運用開始(4/3開始)
(名)

利用者別＼年度	2年度	元年度	増減
eナースセンター利用者数	5,090	7,319	△2,229
新規求人数	1,949	2,022	△73
新規求職者数	876	752	124
紹介者数	592 (延人数684)	369 (延人数387)	223 (延人数297)
就職者数	351	369	△18

※eナースセンター利用者数減少は、第6次NCCSへのシステム変更による。
※就職者数のうち、新型コロナウイルス関連の就職者　19名
(保健所7名、検疫所6名、PCR検査3名、軽症者療養施設3名)
⑵「医療のお仕事Key-Net」(厚労省の緊急医療人材等確保促進プラン)による職業紹介(求人受付期間6月24日～ 9月9日)
求人登録件数　42件(うちeナースセンター登録件数　27件)
就職者数　　3名(保健所1名、検疫所2名)　※⑴の再掲

3)届出制度(とどけるん)
⑴離職届の受理

3)届出制度(とどけるん)
⑴離職届の受理
①受付区分別届出状況
(人)

内訳＼年度	2年度	元年度	増減
届出者数	1,097	1,033	64
代行届数	689	695	△6
代行届出率	62.8%	67.3%	

②届出による支援対象者数　（人）

内訳＼年度	2年度	元年度	増減
復職の意向「すぐに」	39	37	2
復職の意向「いずれ」	94	77	17
復職の意向「未定」	313	355	△42
計	446	469	△23

⑵一斉メール等によるeナースセンター登録の推進
⑶情報提供(合同就職説明会、研修会、求人)
⑷就業支援
⑸郵送による就業調査

⑵一斉メール等によるeナースセンター登録の推進
⑶情報提供(合同就職説明会、研修会、求人)
⑷就業支援(電話・メール・面接等)
⑸郵送による就業調査
対　象　者：届出による支援対象者
調査方法：届出3か月後に往復はがき郵送による確認

内訳＼年度	2年度	元年度	増減
対象者数	446	469	△23
発送数※	308	376	△68
回収数	130	135	△5
回収率	42.2%	35.9%	6.3%
就業者数	67	65	2

※4月～ 12月の届出者に送付

4)未就業看護職の就業支援
⑴看護基礎技術講習会(5回/月程度開催)

4)未就業看護職の就業支援
⑴看護基礎技術講習会
⑹の未就業看護師等再就業支援セミナーの2日目午後に実施

実施状況＼年度	2年度	元年度	増減
開催回数	14	61	△47
参加者数	63	88	△25
就業者数	26	49	△23
就業率	41.3%	55.7%	

内容：採血・注射法、吸引(8月～ 9月のみ)、経管栄養(8月のみ)

⑵合同就職説明会の開催(年4回程度)
⑶訪問看護基礎研修会(年5回)
①半日コース 年2回(ナースセンター 1回、地区)
②1日コース 年3回(ナースセンター)

⑵合同就職説明会の開催　中止
⑶訪問看護基礎研修会
①半日コース(11/9ナースセンター　12/1佐倉市　2/9Web開催)
②1日コース(8/7中止　9/4中止　1/22は半日に変更)

開催場所	開催日	参加者数	就業者数
ナースセンター	11/9	4	
佐倉市	12/1	7	
Web開催	2/9	3	
計	3	14	7
元年度	5	77	11

③研修会受講後の再就業支援(再掲)

③研修会受講後の再就業支援(再掲)

⑷看護職への求人情報の提供(年4回発行)

⑷看護職への求人情報の提供
提供日：7/21、9/23、12/22、3/23　提供数：各500部
配布先：未就業者、ハローワーク等関係機関、ナースセンター来所者

⑸公共職業安定所と連携した相談ブースの設置
（千 葉2回/月、 松 戸2回/月、 木 更 津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月）

⑸公共職業安定所と連携した相談ブースの設置
4月～ 6月中止、7月～ 12月予約制、1月～ 3月中止

出張相談会　（名）

ハローワーク	令和2年度			令和元年度		
	開催回数	相談者数	就業者数	開催回数	相談者数	就業者数
千　葉	11	10(9)	3	22	93(90)	33
木更津	6	14(14)	1	11	31(26)	7
松　戸	11	22(20)	5	24	64(60)	17
船　橋	6	8(8)	5	12	34(31)	13
成　田	6	10(9)	2	12	35(31)	12
合　計	40	64(60)	16	81	257(238)	82

※相談者数は求職者、求人施設、進路相談の合計（ ）内は求職者再掲

⑹未就業看護師等再就業支援セミナーの開催
2回/年程度(ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催)

⑹未就業看護師等再就業支援セミナーの開催
※日本看護協会委託事業「地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業」として実施
開催回数：8月～ 3月　14コース開催(1コース2日間)
内　　容：感染対策、医療安全、技術演習
参加人数：81名
就業者数：37名(就業率 45.7%)
就　業　先：病院12名、介護福祉施設11名、診療所6名、保健所2名、訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ1名、検疫所1名、新型コロナウイルス療養施設1名、団体1名、少年院1名、ワクチン接種1名

⑺サテライト事業の推進
①公共職業安定所と連携した相談ブースの設置（再掲）
②合同就職説明会の開催(再掲)
③再就業支援セミナーの開催（再掲）

⑺サテライト事業の推進
①公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲)
②合同就職説明会の開催(再掲)
③再就業支援セミナーの開催（再掲）

⑻就業相談推進アドバイザーによる施設訪問

⑻就業相談推進アドバイザーによる施設訪問
訪問施設数：1施設

⑼プラチナナース研修会
対象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職

⑼プラチナナース研修会
開催日：2/26
対　象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職
参加者：30名（就業中29名、未就業者1名）
（元年度　参加者40名　うち就業中36名、未就業者4名）

⑽就業確認の郵送調査

⑽就業確認の郵送調査
対　象：ナースセンターの支援者のうち就業が未確認の者

内訳＼年度	2年度	元年度	増減
対象者数	386	671	△285
回収数	128	236	△108
回収率	33.2%	35.2%	△2.0%
就業者数	70	126	△56

5)ナースセンター運営委員会の開催　　年1回
6)ナースセンター事業の広報

5)ナースセンター運営委員会の開催(3/18Web開催)
6)ナースセンター事業の広報
ホームページ・看護ちば掲載
「千葉県ナースセンターのご案内」リーフレット作成
「退職される看護職の皆さまへ」リーフレット作成

7)関係機関との連携
（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）

7)関係機関との連携
（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）
⑴ナースセンター事業担当者会議(7/3書面開催)
⑵都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会(9/2Web開催)
⑶ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議(3/25書面開催)
⑷都道府県ナースセンター相談員研修(2/2 ～ 2/24) Web開催

8)看護職への相談支援

9)看護進路相談事業(再掲)
10)ナースセンターの維持管理

6.医療・看護における安全対策
1)医療・看護に関する相談支援、情報提供
⑴医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介

2)医療安全推進週間の推進
⑴医療安全大会の開催
開催日：令和2年11月15日(日)
場　所：幕張メッセ国際会議場

⑵医療安全推進の普及啓発
①医療安全に関する標語の募集

②ポスター等による普及啓発

3)医療安全管理者の育成
⑴医療安全管理者養成研修会(再掲)
⑵医療安全担当者中央交流会(年1回)

⑶医療安全担当者地区交流会
(2年目：市川・千葉・船橋地区　1年目：印旛・山武地区)

4)関係機関等との連携促進

5)医療安全委員会の開催　　年6回

8)看護職への相談支援

年度 / 支援状況	2年度	元年度	増減
面接	109	354	△245
電話	1,537	1,636	△99
NCCS・メール	2,030	1,842	188
FAX等	25	35	△10
計	3,701	3,867	△166

9)看護進路相談事業(再掲)
10)ナースセンターの維持管理

6.医療・看護における安全対策
1)医療・看護に関する相談支援、情報提供
⑴医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介
顧問弁護士による看護ちばへの情報提供(4月、7月、10月、1月)
⑵相談：なし
2)医療安全推進週間の推進
⑴医療安全大会の開催
開催日時：令和2年11月15日(日) 13:00 ～ 16:00　Web開催
参 加 者：151名(看護職136名90%、他職種15名10%)
テ ー マ：「地域連携で支える医療安全」
内 容：・医療安全に関する表彰標語の発表
・講演1
「医療安全対策地域連携の実践
～施設内・施設外の連携の実際～」
講師：医療法人鉄蕉会　亀田総合病院
医療安全管理室長　鈴木 真 氏
・講演2
「医療安全地域連携評価の実践
～南大阪医療安全ネットワークで作成した評価表を使って～」
講師：医療法人宝生会　PL病院　医療安全管理室長
病院統括リスクマネージャー　堀田いずみ 氏
⑵医療安全推進の普及啓発
①医療安全に関する標語の募集　　(名)

		令和2年度	令和元年度
応募者数		1,327	1,621
内訳	看護職	882(66.5%)	1,110(68.5%)
	他職種	445(33.5%)	551(31.5%)
応募施設数		84	105

・入賞作品
最優秀賞「声あげよう　あなたの気づきが　事故へらす」
優 秀 賞「間違いは　いつでも　どこでも　あなたでも」
②ポスター等による普及啓発
発送先：病院289、公的機関119、その他会員施設288、
他団体・企業等56

3)医療安全管理者の育成
⑴医療安全管理者養成研修会(再掲)
⑵医療安全担当者中央交流会(2/6Web開催)
参加者：45名
⑶医療安全担当者地区交流会　中止

4)関係機関等との連携促進
日本看護協会　都道府県医療安全担当役員会議(3/3Web開催)

5)医療安全委員会の開催
(9/30、11/20、12/18、1/15Web開催、2/19 Web開催)

Ⅲ　訪問看護の推進に関する事業

【目的】
在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事　業	内　容
1.訪問看護推進事業(千葉県委託)	1.訪問看護推進事業(千葉県委託)
1)訪問看護推進協議会の開催	1)訪問看護推進協議会の開催(8/27)
2)訪問看護に関する総合相談の実施	2)訪問看護に関する総合相談の実施　相談件数44件 相談者内訳：看護職35.6%、県民26.7%、ケアマネジャー 17.8%、その他19.9% 相談内容内訳：訪問看護サービス詳細(算定、加算、保険種別、施設入居等) 66.7%、介護に関する事11.1%、処置に関する事6.7%、運営管理6.7%、管理業務の不安4.4%、その他4.4%
3)訪問看護の普及啓発事業	3)訪問看護の普及啓発事業
⑴看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム (安房地区、他1ヶ所)	⑴看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム ①看看ケアマネ連携フォーラム(安房地区) (12/19Web開催) 参加者：21名 ②看看連携フォーラム　中止
⑵パンフレットの配布	⑵パンフレットの配布 配 布 物：「訪問看護利用の手引き」等 配布方法：ホームページ掲載(ダウンロード可)
4)訪問看護師指導者育成研修会(年2回)	4)訪問看護師指導者育成研修会(2/13、2/20Web開催) 参加者：1回目　22名、2回目　24名
5)訪問看護再就職支援事業	5)訪問看護再就職支援事業
⑴訪問看護ステーション見学体験事業	⑴訪問看護ステーション見学体験事業　中止
⑵訪問看護就職フェア(年1回)	⑵訪問看護就職フェア　中止
6)訪問看護病院経営者(看護管理者) 講習会(年1回)	6)訪問看護病院経営者(看護管理者) 講習会(1/30Web開催) 参加者：12名
2.訪問看護出向支援事業(千葉県委託)	2.訪問看護出向支援事業(千葉県委託)
1)訪問看護ステーション等出向支援事業のコーディネート業務	1)訪問看護ステーション等出向支援事業のコーディネート業務 マッチング3名、出向支援3名(出向元病院2カ所、出向先事業所2カ所)
3.訪問看護推進事業(協会単独事業)	3.訪問看護推進事業(協会単独事業)
1)訪問看護師人材育成事業	1)訪問看護師人材育成事業
⑴「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 対象：新卒訪問看護師	⑴「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 支援2名(新卒1年目1名9月終了、新卒2年目1名3月修了)
⑵「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及	⑵「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 進路ガイダンス(2/3Web参加)
⑶訪問看護師養成講習会の開催(再掲)	⑶訪問看護師養成講習会の開催(再掲)
2)訪問看護ステーションIT化等推進事業	2)訪問看護ステーションIT化等推進事業
⑴「(旧) 千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理(1事業所予定)	⑴「(旧) 千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理 1事業所(3月で終了)
4.関係機関との連携	4.関係機関との連携
1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携	1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携
2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携	2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携 千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 (12/12)

Ⅳ 県民への健康・福祉の増進に関する事業

【目的】
看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。

事　業	内　容
1.「看護の日」「看護週間」事業 1) Nursing Now キャンペーンの実施 2)「看護の日・看護週間」制定30周年・ナイチンゲール生誕200周年記念事業in ちば テーマ：「看護」は世紀を越えて進化する ～看護の力で健康な社会を！～ ― 地域で輪となりつなげる看護 ― 第1部　日　時：令和2年5月10日(日) 会　場：東京ベイ幕張ホール 内　容：開会式及び記念講演等 第2部　日　時：令和2年5月16日(土) 会　場：12地区部会が決定した場所 内　容：各種測定、健康に関する各種相談等	1.「看護の日」「看護週間」事業 1) Nursing Now キャンペーンの実施 2)「看護の日・看護週間」制定30周年・ナイチンゲール生誕200周年記念事業in ちば テ ー マ：「看護」は世紀を越えて進化する ～看護の力で健康な社会を！～ 方　法：Web開催 開催日及び参加者：11/29　13:00 ～ 16:00　142名 第1部 記念講演：認定NPO法人マギーズ東京共同代表理事・センター長、第47回フローレンス・ナイチンゲール記章受章者 秋山正子 氏 県行政からのメッセージ：千葉県健康福祉部保健医療担当部長 渡辺真俊 氏 実践報告：地域で輪となりつなげる看護！ ・千葉県循環器病センター 継続看護担当上席看護師長、皮膚・排泄ケア特定認定看護師　鈴木由加 氏 ・千葉県訪問看護ステーション協会　会長　山﨑潤子 氏 第2部　中止
3)実行委員会の開催(2回)	3)実行委員会の開催（7/28、2/18）
2.「まちの保健室」事業 1)常設型の開催 開催場所　12地区部会の決定会場 2)イベント型の積極的な開催	2.「まちの保健室」事業 1)常設型　中止 2)イベント型　中止
3.自殺予防対策 1)心の総合相談 ⑴専用電話・専用メールによる相談対応	3.自殺予防対策 1)心の総合相談 ⑴専用電話・専用メールによる相談対応 （緊急事態宣言中の4月末～ 9月、2月～ 3月末まで電話相談中止） 相談件数：167件(電話111件、メール56件) 相談者数：163名(県民151名、看護職11名、看護学生1名) 相談内容(上位5項目の件数と割合) ・令和2年度より相談内容をさらに細分化するため、精神的問題を追加した。
⑵自殺予防に関する広報	⑵カード式広告の発送(医療機関250件、県・市町村行政138件、会員施設等253件)
⑶相談員研修	⑶相談員研修
2)人材育成研修の開催(再掲) ⑴「看護師のストレスマネジメント ～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲) ⑵「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲) ⑶「職場適応を支えるメンタルヘルス ～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」(再掲)	2)人材育成研修の開催(再掲) ⑴看護師のストレスマネジメント ～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～　中止 ⑵ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう(再掲) ⑶職場適応を支えるメンタルヘルス ～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～（再掲）

	件数比較		割合比較	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
精神的問題	40	項目なし	23.9	項目なし
家庭関係	30	100	17.9	14.7
身体健康問題	19	131	11.3	19.3
検査･治療関係	20	97	11.9	14.3
人間関係	13	100	7.7	14.7

4.関係機関・他団体への協力 1)小児救急電話相談事業への協力	4.関係機関・他団体への協力 1)小児救急電話相談事業への協力 ⑴勤務表作成(4月、6月、8月、10月、12月、2月) ⑵相談員研修会(1/9、2/11) ⑶小児救急電話相談事業協議会(3/15)
2)研修会等への講師紹介や派遣 3)行事等への参加	2)研修会等への講師紹介や派遣 3)行事等への参加
5.災害支援対策事業 1)災害支援ネットワークの強化 ⑴災害時における関係機関との連携 ①日本看護協会及び都道府県看護協会 ②千葉県、関係団体等 ⑵平常時における連携 ①県内施設、日本看護協会等合同防災訓練	5.災害支援対策事業 1)災害支援ネットワークの強化 ⑴災害時における関係機関との連携 ①日本看護協会及び都道府県看護協会 ②千葉県、関係団体等 ⑵平常時における連携 ①県内施設、日本看護協会等合同防災訓練(12/8 ～ 10) 想定：青森県で震度7の地震が発生 災害支援ナース所属施設：77施設 協力施設：57施設
②九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加	②九都県市合同防災訓練　中止、市町村等訓練　中止 ③日本看護協会主催「令和2年度都道府県看護協会災害看護担当者会議」 (11/11Web開催)
2)災害に備えた支援体制の整備 ⑴災害支援ナースの登録促進 ⑵災害支援ナースの登録・管理 ⑶災害救護対応マニュアル等の見直し ⑷災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑸災害時必要物品の管理　年1回	2)災害に備えた支援体制の整備 ⑴災害支援ナースの登録促進 ⑵災害支援ナースの登録・管理（3月末現在　246名） ⑶災害救護対応マニュアル等の見直し ⑷災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑸災害時必要物品の管理
3)災害支援ナースの育成 ⑴「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～」(再掲) ⑵「災害医療と看護(実践編)」（再掲） ⑶「災害支援ナース更新・再登録要件講習会」(再掲)	3)災害支援ナースの育成 ⑴災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎的知識～（再掲） ⑵災害医療と看護(実践編)（再掲） ⑶災害支援ナース更新・再登録要件講習会(2/26)（再掲）
4)災害対策委員会の開催　年6回	4)災害対策委員会の開催(7/1、9/2、12/2、3/3Web開催)

V　看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

【目的】
看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事　業	内　容
1.職能委員会 1)保健師職能委員会　年6回程度 2)助産師職能委員会　年6回程度 3)看護師職能委員会(領域Ⅰ)　年6回程度 4)看護師職能委員会(領域Ⅱ)　年6回程度	1.職能委員会 1)保健師職能委員会(9/9、10/23、12月メール開催、2月メール開催) 2)助産師職能委員会(9/7、10/29、11/30、3/22Web開催) 3)看護師職能委員会(領域Ⅰ)(9/7、10/27、11/24、2/27 Web開催、3/23 Web開催) 4)看護師職能委員会(領域Ⅱ)（8/31、9/17、10/22、11/27、12/16、2/17 Web開催）
2.職能集会・交流会 1)職能集会 開催日：令和2年6月23日(火) 場　所：アパホテル&リゾート　東京ベイ幕張ホール ⑴保健師職能集会　1回 ⑵助産師職能集会　1回 ⑶看護師職能集会(領域Ⅰ)　1回 ⑷看護師職能集会(領域Ⅱ)　1回	2.職能集会・交流会 1)職能集会　中止
2)各職能別交流会 ⑴保健師職能交流会　1回 ⑵助産師職能交流会(管理者、中堅)　2回 ⑶看護師職能交流会(領域Ⅰ)　1回 ⑷看護師職能交流会(領域Ⅱ)　1回	2)各職能別交流会 ⑴保健師職能交流会　中止 ⑵助産師職能交流会(管理者、中堅)　中止 ⑶看護師職能交流会(領域Ⅰ)(2/27)　Web開催(参加者31名) ・シンポジウム　テーマ「COVID-19についての取組を共有しよう」 ⑷看護師職能交流会(領域Ⅱ)(11/27)　Web開催(参加者74名) ・講演「体験から学ぶ新型コロナウイルス感染症～発生から収束まで～」

⑸准看護師交流会　1回 1.県行政等への要望・意見具申 1)県の令和3年度予算等に関する要望書の提出	⑸准看護師交流会　中止 1.県行政等への要望・意見具申 1)県の令和3年度予算等に関する要望書の提出(9/10) ※会員からの要望　33施設・37名・1委員会　95件 ＜要望事項＞ ⑴2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進 ⑵質の高い看護の提供体制の整備 ⑶地域包括ケアシステムの構築の推進
2)県議会等の活動への協力依頼等	2)県議会等の活動への協力依頼等　1回(9/29自由民主党)
3)県へ新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の提出	3) 県へ新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の提出 ⑴医療機関･介護施設･訪問看護事業所等に対する衛生材料の確実な供給(4/28) ⑵医療的ケア児を養育する家庭等に対する衛生材料等の確実な供給(4/28) ⑶地域における感染管理に関する専門性の高い看護師の活用による体制整備の強化(4/28) ⑷新型コロナウイルス感染症対応している看護職に対する危険手当の支給等(4/28) ⑸妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の確保(4/28) ⑹国の交付金の活用による新型コロナウイルス感染症対応している医師及び看護職員に対する危険手当の支給等(5/15) ⑺新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの訪問看護師等への早期接種(1/22)
4)千葉県医療審議会等への参画	4)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：74回　関係団体等会議：49回
2.看護関連施策に対する提言(看護制度) 1)国・日本看護協会等の要望・提言 2)資格認定制度の推進 ⑴専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ⑵特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進	2.看護関連施策に対する提言(看護制度) 1)国・日本看護協会等の要望・提言 2)資格認定制度の推進 ⑴専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ⑵特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進
3)看護職資格の活用基盤強化	**3)看護職資格の活用基盤強化** **看護職資格の活用基盤強化を考える会(日本看護協会によるWeb開催)** 開催日：令和2年12月14日(月) 13:00 ～ 17:00 場　所：千葉県看護会館　2階大研修室

Ⅵ　介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

【目的】
在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事　業	内　容
1.訪問看護事業 1)質の高い訪問看護の提供 2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	1.訪問看護事業(訪問看護師常勤換算　3/31現在7.0名、昨年同時期7.6名)

	令和2年度	令和元年度	増減
1)質の高い訪問看護の提供			
利用者数延(名)	915	867	48
介護保険利用者	557	470	87
医療保険利用者	358	397	△39
訪問回数(回)	5,411	5,103	308
介護保険利用者	2,793	2,279	514
医療保険利用者	2,618	2,824	△206
2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援			
在宅での看取り(名)	24	43	△19
人工呼吸器装着患者(名)	4	5	△1
小児(名)	3	4	△1
3)24時間、緊急時の訪問看護の提供			
緊急訪問延(回)	221	265	△44
休日緊急訪問延(回)	66	112	△46

2.居宅介護支援事業
1)ケアプランの提供
2)地域のネットワークづくり
3)利用者の申請代行

2.居宅介護支援事業
（ケアマネジャー常勤換算　3/31現在1.0名、昨年同時期1.7名）

	令和2年度	令和元年度	増減
1）ケアプランの提供			
ケアプラン作成(件)	193	467	△274
2）地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)			
担当者会議(回)	21	105	△84
3）利用者支援(介護認定支援業務)			
利用者の申請代行(件)	44	30	14

3.訪問看護の普及
1)訪問看護研修生の受入れ
2)看護学生実習の受入れ

3.訪問看護の普及
1)訪問看護研修生の受入れ　依頼なし
2)看護学生実習の受入れ　10名(2校）述べ15日間
県立保健医療大学6名(10/12～14、11/16～18、12/14～16)
城西国際大学　4名(12/1～3、1/12～14)

4.地域ニーズに応じた運営体制の整備
1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援
2)ちば訪問看護ステーション定例会議　月1回

3)ちば訪問看護ステーション運営会議　年2回程度

4.地域ニーズに応じた運営体制の整備
1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援
2)ちば訪問看護ステーション定例会議（4/21、5/19、6/23、7/21、9/15 10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16）
3)ちば訪問看護ステーション運営会議(4/21、3/16)

5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携
1)医療機関、介護支援専門員等との連携
地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加
2)利用者確保のための広報活動

5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携
1)医療機関、介護支援専門員等との連携
地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加
地域交流会(11/21、12/20、1/23)、地域連携の会(3/11Web開催)
2)利用者確保のための広報活動
地域連携の会などの交流を通し、あんしんケアセンターを中心に広報活動を実施。

6.職員の資質の向上
1)事例検討ミーティング

2)研修会・学会等への参加

3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)

6.職員の資質の向上
1)事例検討ミーティング(4/21、5/19、6/23、7/21、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16)
2)研修会・学会等への参加　認知症初期集中支援チーム員研修1名(8/24、25)
3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)

7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進
1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取組み
2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり
3)経営の安定化
4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催　年度末1回

7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進
1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取組み

2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり
3)経営の安定化
4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会(3/29)

8.千葉市認知症初期集中支援推進事業(千葉市委託)
1)認知症に係る各機関との連携・調整
2)認知症の人及びその家族に対しての支援の検討及び提供
3)認知症の人及びその家族に対しての情報収集及び提供

4)認知症の人及びその家族に対しての研修会、交流会等の実施

8.千葉市認知症初期集中支援推進事業(千葉市委託)
1)認知症に係る各機関との連携・調整
2)認知症の人及びその家族に対しての支援の検討及び提供

3)認知症の人及びその家族に対しての情報収集及び提供
チーム員会議(5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16)
5事例に対し79回訪問他、電話・メールによる対応

4)認知症の人及びその家族に対しての研修会、交流会等の実施

Ⅶ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

【目的】
1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。
2. 情報提供及び広報を行う。
3. 当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。
4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。

事　業	内　容
1.地区部会活動事業 1)具体的な地区部会活動 ⑴役員会　年5回程度 ⑵連絡会　年2回程度 ⑶研修会　年3回 ⑷まちの保健室の開催(再掲) ⑸「看護の日」「看護週間」事業(再掲) ⑹その他、地区特有の事業 ①合同就職説明会の開催(再掲) ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲) 2)地区部会長会の開催　年2回	1.地区部会活動事業 1)具体的な地区部会活動 ⑴役員会　19回(Web開催6、書面等2) ⑵連絡会　1回 ⑶研修会　0回 11地区が役員会のみの開催、1地区が役員会と連絡会開催 ⑷まちの保健室の開催(再掲) 中止 ⑸「看護の日」「看護週間」事業(再掲) 中止 ⑹その他、地区特有の事業 ①合同就職説明会の開催(再掲) 中止 ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲) 中止 2)地区部会長会の開催 (7/28、2/18Web開催)
2.情報提供、広報事業 1)千葉県看護協会の広報 ⑴機関誌「看護ちば」の発行　年4回 ⑵ホームページの充実 ⑶協会パンフレット等の活用 2)広報委員会の開催　年6回	2.情報提供、広報事業 1)千葉県看護協会の広報 ⑴機関誌「看護ちば」の発行(4月号、7月号、10月号、1月号) ⑵ホームページの充実 6/24リニューアルオープン アクセス数：327,995件(前年209,900件) 伸び率：156.3% ⑶協会パンフレット等の活用 2)広報委員会の開催(9/2、10/29、11/26、12/22、1/14、2/25)

収 益 事 業

事　業	内　容
1.施設の貸与等事業 1)別館2階会議室②の貸付	1.施設の貸与等事業 1)別館2階会議室②の貸付 終了
2.販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務(日本看護協会)	2.販売手数料及び出展広告に関する事業 1)看護関連図書の紹介 2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 第16回医療安全大会冊子掲載協賛 7社 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務(日本看護協会)
3.会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰 3)慶弔見舞金等の給付 4)災害時の支援(再掲)	3.会員サービス・福祉の充実等 1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰 ⑴春の叙勲 4名(うち瑞宝双光章2名、瑞宝単光章2名) 秋の叙勲 1名(瑞宝双光章 1名) ⑵厚生労働大臣表彰 1名 ⑶千葉県知事表彰 13名 ⑷千葉県看護協会長表彰 272名 3)慶弔見舞金等の給付 弔慰金 11名 4)災害時の支援(再掲) ①災害 ・熊本県災害義援金 送金先：同県看護協会 3,492,149円(121会員施設等) ②感染症 ・衛生材料の受入 日本看護協会、企業等から、フェイスシールド、防護ガウン、マスクなど409施設へ配布 ・寄附金の受入 生活協同組合コープみらい、東洋羽毛

5)会員福利厚生サービスの実施・広報	5)会員福利厚生サービスの実施・広報 クラブオフ利用者数　8,389名(前年比　88.7%) ①看護ちばへのキャンペーンの掲載(4月号、7月号、10月号、1月号) ②協会ホームページへのトピックスの掲載(毎月) ※非常事態宣言発令中は掲載なし ③クラブオフナビ(冊子)、PRカード(名刺サイズ)　配架・配布

法 人 会 計

事　業	内　容
1.組織運営に関する会議等の開催 1)総会(終了後、職能集会)　年1回 開催日：令和2年6月23日(火) 場　所：アパホテル&リゾート　東京ベイ幕張ホール	1.組織運営に関する会議等の開催 1)総会 開催日：令和2年6月23日(火) 13:30 ～ 15:15 場　所：アパホテル&リゾート　東京ベイ幕張ホール 参加者数：43名(一般会員24名、役員19名) 書面議決権行使：19名 委任状：19,476名 3密回避のため書面議決書と委任状により参加者を大幅に絞って開催 審議事項 第1号議案　名誉会員の推薦について 第2号議案　令和元年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 第3号議案　令和2年度改選役員及び推薦委員の選任について 第4号議案　2021年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の選出について
2)理事会　年6回程度	2)理事会(5/22、6/23、7/16、8/25、10/8、12/10、2/18) 7/16以降はWeb開催
3)監事監査　年2回(5月、11月)	3)監事監査(5/8、11/17)
4)施設等会員代表者会　年2回	4)施設等会員代表者会(7/16中止、1/28) 第1回　1/28　Web開催 参加者数：一般会員90施設、役員18名 議事　令和2年度事業の進捗状況について 令和3年度重点事業について パネルディスカッション 「新型コロナウイルス感染症時代における新人看護職の人材育成」
5)地区部会長会　年2回(7月、1月)	5)地区部会長会(7/28、2/18)
6)保助看職能委員会(再掲)　年6回程度	6)保助看職能委員会(再掲)
7)推薦委員会　年6回程度	7)推薦委員会(9/11、10/30、11/27、1/29 、2/26、3/26) 1/29以降はWeb開催
8)常任委員会(再掲)　年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会	8)常任委員会(再掲) 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会
9)千葉県看護連盟との連携合同研修会	9)千葉県看護連盟との連携合同研修会(1/18Web開催) 参加者：69名 内　容:「新型コロナウイルス感染症対策の実際 ～看護職の活動実践報告～」 実践報告①「医療機関における看護管理者の実践」 実践報告②「地域における認定看護師の実践」
2.会員増の促進	2.会員増の促進 会員数：28,833名(新規入会者数　2,517名)
1)新規・再入会の促進	1)新規・再入会の促進
2)継続会員への勧奨	2)継続会員への勧奨
3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 ⑴看護学生の表彰 ⑵千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内	3)千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 ⑴看護学生の表彰 対象：28名 ⑵千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対象：令和2年度卒業生40校、2,592名

	⑶特別講話 対象：7校
4)会員増促進委員会の開催(年6回)	4)会員増促進委員会(9/11、10/30、12/4、2/26Web開催)
3.公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) 1)令和3年度事業計画・収支予算等の提出(3月) 2)令和元年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6月) 3)役員等の変更登記及び届出	3.公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等) 1)令和3年度事業計画・収支予算等の提出(3月) 2)令和元年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6/30) 3)役員等の変更登記及び届出(1/8)
4.日本看護協会との連携 1)法人会員会・理事会	4.日本看護協会との連携 1)法人会員会・理事会 法人会員会(5/8、7/31、8/18、9/25中止、11/27、2/26) Web開催 理　事　会(5/8、6/11、7/30、9/25、11/26・27、2/25) 日本看護協会通常総会(6/11)　書面議決権行使　代議員28名 全国職能交流集会　中止
2)地区別法人会員会	2)地区別法人会員会 (10/29、10/30中止) 地区別職能委員長会(10/30Web開催)
3)職能委員長会	3)職能委員長会 全国職能委員長会　Web開催 保健師職能委員長会 (3/11) 助産師職能委員長会 (3/11) 看護師職能委員長会Ⅰ(3/10) 看護師職能委員長会Ⅱ(3/10)
4)日本看護協会通常総会代議員選出	4)日本看護協会通常総会代議員選出 ⑴2020年度日本看護協会通常総会代議員等研修会　中止 ⑵2021年度日本看護協会通常総会代議員(28名)・予備代議員(30名)を選出(6/23)
5.行政等との連携 1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携 3)関係団体の行事等への協賛・後援	5.行政等との連携 1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2)四師会、日本助産師会及び関係団体との連携 3)関係団体の行事等への協賛・後援(後援27件)
6.役員・職員の資質の向上と福利厚生 1)研修の実施 ⑴担当業務に係る外部研修等の受講 ⑵集合研修の実施 2)健康診断およびインフルエンザ予防接種 3)有給休暇の取得促進	6.役員・職員の資質の向上と福利厚生 1)研修の実施 ⑴担当業務に係る外部研修等の受講 ⑵集合研修の実施 **感染対策の基本**(7/29、8/4、8/5、8/6、8/12) **全職員(40名)** 2)健康診断およびインフルエンザ予防接種 3)有給休暇の取得促進
7.協会資産の管理 1)看護会館等の管理 ⑴看護会館の管理 ①保全等 ②環境整備 ⑵協会物品の管理 ①物品台帳の整備 ⑶公用車の管理 2)情報資産の管理・活用 ⑴情報資産の管理 ①情報セキュリティの確保 ②個人情報関連業務の標準化 ⑵情報資産の活用 ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有	7.協会資産の管理 1)看護会館等の管理 ⑴看護会館の管理 ①保全等 ②環境整備 新型コロナウイルス感染症対策物品の整備 ・AI自動体温計、アルコールディスペンサー、CO2測定器等 ⑵協会物品の管理 ①物品台帳の整備 ⑶公用車の管理 2)情報資産の管理・活用 ⑴情報資産の管理 ①情報セキュリティの確保 ②個人情報関連業務の標準化 ⑵情報資産の活用 ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有